

。。。そうだったのか！江の島。。。

日時:2016年6月22日(水) 天候:曇り 13000歩 約9km

集合:小田急片瀬江ノ島駅改札 10時

コース:片瀬江ノ島駅→江の島内を散策(サムエル・コッキング苑)→腰越の寺巡り→片瀬江ノ島駅

参加者:小山文(L) 吉越 平嶋 高橋文 熊島 小林 山内 小山美 井内 福士 山川 桑原 奥村 市川/一般:日原計16名

元は陸続きだった江の島は、縄文時代の住居跡や石器も出土し、奈良時代には役小角が江の島の岩屋に参籠したともいわれ、島全体が聖域として扱われました。時代は下り、江戸時代には徳川家康や徳川光圀(黄門様)も参拝しています。島の周囲は約4km、標高は60mの陸繋島で、大正12年の関東地震で隆起岩棚ができ、磯遊びや磯釣りの場所ともなっています。また岩屋と呼ばれる海蝕洞が見られ、さらに浸食が激しくなるとこの海蝕洞が崩壊し、大きな谷状の地形ができますが、中央部には「山二つ」と呼ばれる南北から分断するような地形があり、東部を東山、西部を西山と呼ばれ江の島は地形的にこの二つの山で成り立っていることとなります。誰でも知っている江の島、今日はその知られざる顔を探して贅沢にもガイド付きでの散策となりました。さすがに観光地だけあって、外国人も多く見受けられましたが、皆さんが何気なく通り過ぎる場所に、良く見るとこんな歴史があったのかと、改めて江の島を見直す良い機会となり、思わず“そうだったのか！江の島”と叫んでしまいました！・・・(ちょっとオーバーですね)

小山Lには各所で丁寧な解説をしてもらい、皆さん頷いてはいましたが、果たしてどこまで記憶に残っているのでしょうか？少々ボケ気味の我々(失礼、私)には、むしろシラスランチの方が印象に残ったかも(?)・・・でも大変勉強になりました！

<フォトレポート 小島>



<サムエル・コッキング苑で花に囲まれての集合写真。女性が多い中、何となく影が薄い男性陣でした！>



小田急江ノ島駅前。駅前には“乙姫様”方が・・・



本日のリーダー兼ガイドの小山文さんからコース説明。



片瀬川を渡りスタートです。



目指す江の島も何となく霞んでいます。



橋の上にはこんな彫刻作品が・・・



女性像です。何故か一か所だけ光っています！



改めて詳細について説明が。



弁天橋で。これもう忘れまし！



片瀬漁港の直売所が見えました。



弁天橋を江の島に向かうKWC御一行。



何だか楽しそうですが・・・何の話？



北緑地に入ります。普段あまり馴染みがありません。



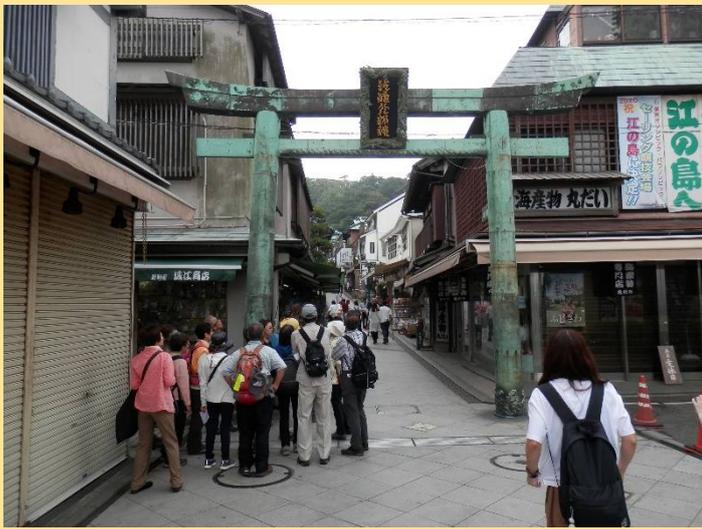
片瀬東浜海水浴場。もうすぐ海開きですね。



オリンピック記念噴水池の女性像。いずれがアヤマメかカツバタの美女群？ どれも魅力的です！

★オリンピック記念噴水池：

昭和39年(1964)の東京オリンピック開催を記念して作られた噴水池。弁財天を中心にオリンピックの五輪をあらわす5体(西洋・東洋の女性像)の世界女性群像が池の中に建っている。(日本芸術院会員で藤沢市在住の故加藤頭清氏作)



江島神社参道の青銅製鳥居。



鳥居には新吉原の文字と寄進した花魁たちの名も。



歴史のある岩本楼。鎌倉時代からの旅館です。



上から目線！女性が多いが若くはないニャ〜ン。オス？



登録有形文化財ローマ風呂や洞窟風呂も。



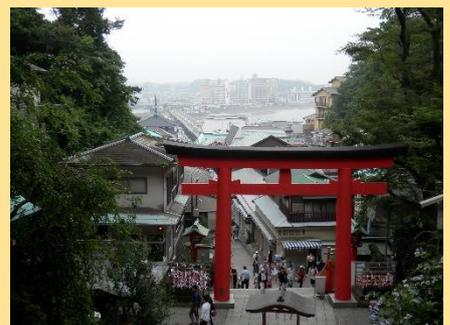
江の島と云えば、どの店もシラスですね。



江島神社に着きました。



今日初の上り階段。楽勝！



見下ろせば遥かに海が。



階段を上がって一息入れているところ。



赤い橋の先には、かつて分校があったそうです。



杉山検校が鍼管法創始のきっかけとなった石も。



辺津宮の茅の輪くぐり。くぐった回数を忘れそう！



散策路沿いにはアジサイが咲いていました。



中津宮広場の展望台から。



2020年の東京オリンピックではセーリング競技の会場となります。





サムエル・コッキング苑に入ります。



マイアミビーチエリアで小休止。



苑内の郷土資料館では古写真が展示されていて、かつての江の島の様子を知ることが出来ます。



韓国保寧市との友好記念の石塔。韓ドラファン必見？



江の島と云えば、このシーキャンドル（展望燈台）

●サムエル・コッキング苑＝アイルランド人の貿易商、サムエル・コッキングが明治13年に金亀山与願寺（現江島神社）の土地を買収し、植物園として明治15年に開園。その後の関東地震で荒廃したこの場所を、昭和23年に藤沢市が買収。昭和24年に「藤沢市立江ノ島熱帯植物園」を開設、翌年に江ノ島鎌倉観光（現江ノ島電鉄）の委託経営となり「江ノ島植物園」に改名。昭和26年に二子玉川園にあった落下傘塔を園内に移設、展望台を兼ねた民間の江の島燈台を建設した。平成15年には旧江ノ島燈台に隣接し、新たに建設された江の島展望燈台がオープン。旧燈台は解体され整備後は「サムエル・コッキング苑」としてオープンした。（HPより抜粋）



普段は立ち寄らない江の島大師に入ります。



中国の刺繍仏像画を展示中。製作には2年ほどかかる。



ここが海食洞の崩落で割れた場所「山二つ」。



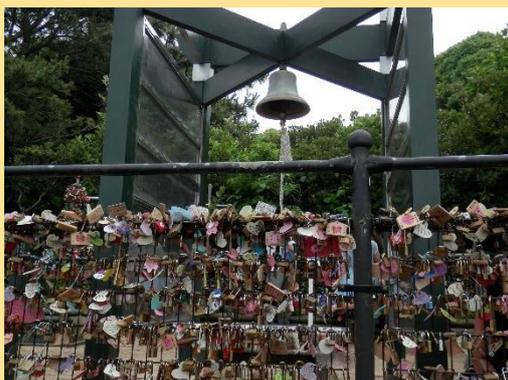
この先が島で一番細く狭い地形のようです。



奥津宮に到着しました。



龍宮大神。奥には岩屋があります。



龍恋の鐘。カップルの聖地？



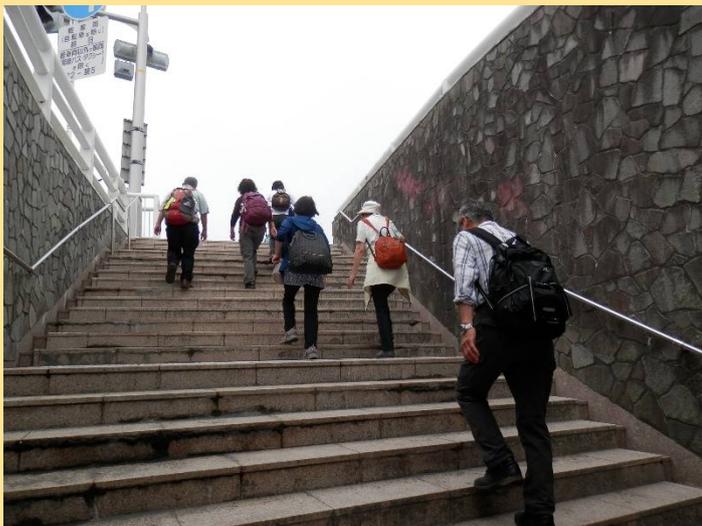
何やら空模様が怪しくなってきました。



左に下りると杉山検校の墓があります。



小田急のポスターにもなった赤い橋上で。



弁天橋地下道から昼食場所を目指します。



東浜は海の家建設中。1時近いので皆さんもう限界！



やっと着いたランチ場所「かきや」。



シラスたっぷりのランチ定食です。



二階は大広間で、一階は量が苦手な人の椅子席。私？胡坐がかけないので椅子席組でした！



店の前には江ノ電が走っています。唯一の車道区間。



腰越駅。ゆったりとした時間が流れているようで・・・



食後は、その名も「満腹寺」いや「満福寺」でした。



このトンネル、中には“別世界”があるのかも！



※満福寺をスタートして幾つかの寺を案内してもらいましたが、何処が何寺だったか・・・既に忘却の彼方！



という訳でガイドのリーダーには済みませんが、その他は花の写真で誤魔化すことにしました！



最後は皆さんご存知の龍口寺でしたが、本日のコースはここで終了。帰りの路線は各自ご自由に。

※前回は参加出来ず、2回目の今回初参加となりました。さすがリーダーは地元だけあってよくご存じで、我々の知らない江の島を解説してもらうことが出来ました。特に江島神社参道入り口の青銅製の鳥居には、寄進した吉原の店や花魁たちの名が刻まれていて、この島の長い歴史を感じることが出来ました。時間があれば、まだまだ知られざるスポットはありそうですが、皆さんランチが“メインイベント”だったかのように、食後は足取りがだいぶ重くなったようです。この日は傘を開くことはなかったものの終日曇り空で、富士山も厚い雲に隠れて絶景を見ることが出来ませんでした。江の島を十分堪能することが出来ました。すでに頭の中から消えつつあるかも知れない各ポイントも、このレポートを見て少しでも思い起こしてもらえれば幸いです。(但し全く思い出せない方は、かなり“重症”かも知れませんよ！)

END